



信用金庫の周年記念事業への取組み - 事前課題の集計結果 -

視点

信用金庫の周年記念事業は、その多くが10年単位の実施となる。実施目的は、①地域や顧客への感謝（利益還元）、②役職員等への労い（感謝）、③業容拡大などの営業推進、④金庫活動の記録と多岐に亘り、それぞれの目的間でバランスを確保する必要がある。足元ではコロナ禍による社会全般の自粛傾向や金庫収益の減少予想があるので、周年記念事業の実施にあたってはその目的や意義、費用対効果を十分に検討して臨むことが求められる。

そこで本稿では、当研究所が2020年11月から2021年2月にかけて実施した「経営戦略プランニング研修」の第8回「周年記念事業への取組み」の事前課題（集計結果）を紹介する。

要旨

- 本稿は、「経営戦略プランニング研修」の第8回「周年記念事業への取組み」の事前課題（集計結果）を取りまとめたものとなる（**受講金庫数は83金庫**）。
- 9割超の受講金庫が周年記念事業を実施しており、その頻度は10年単位が6割となる（**問1**）。
- 実施目的は「地域顧客への感謝（利益還元）」が80.5%となる一方で、実施の反省点をみると「業容・収益に結び付かず」の回答割合が高かった（**問2**）。
- 2021年度以降に実施予定の周年記念事業は、「規模・予算を縮小して実施」と「前回並みの方向」の合計で5割となり、総じて慎重姿勢がみられる（**問3**）。

キーワード

信用金庫、経営戦略、新型コロナウイルス感染症、周年記念事業

※「経営戦略プランニング研修」の第8回「周年記念事業への取組み」の事前課題提出期間は、2020年11月16日～12月18日であった。

目次

はじめに

1. 事前課題の集計結果（受講金庫の特徴等）
2. 周年記念事業の有無（問1）
3. 周年記念事業の内容（問2）
4. 実施予定の周年記念事業（問3）

おわりに

はじめに

信用金庫の周年記念事業は、多くが10年単位の実施となる。実施目的は、①地域や顧客への感謝（利益還元）、②役職員等への労い（感謝）、③業容拡大などの営業推進、④金庫活動の記録と多岐に亘り、それぞれの目的間でバランスを確保する必要がある。足元ではコロナ禍による社会全般の自粛傾向や金庫収益の減少予想があるので、周年記念事業の実施にあたっては実施の目的や意義、費用対効果を十分に検討して臨むことが求められる。

そこで本稿では、当研究所が2020年11月から2021年2月にかけて実施した「経営戦略プランニング研修」の第8回「周年記念事業への取組み」（以下「本研修」という。）の事前課題（集計結果）を紹介する（**図表1、2**）。

（図表1）経営戦略プランニング研修の概要

信用金庫の経営戦略の策定等を支援するため、信金中金 地域・中小企業研究所が2017年度に開始した信用金庫役職員向けの集合（ゼミ）形式の研修である。2020年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、オンライン方式での開催に変更した。

信用金庫のニーズが高い分野（テーマ）単位で募集を行っており、受講信用金庫から提出された事前課題の集計結果および業界動向等の講義をYouTubeで配信する形である。

（備考）図表1～15まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

（図表2）本研修スケジュール

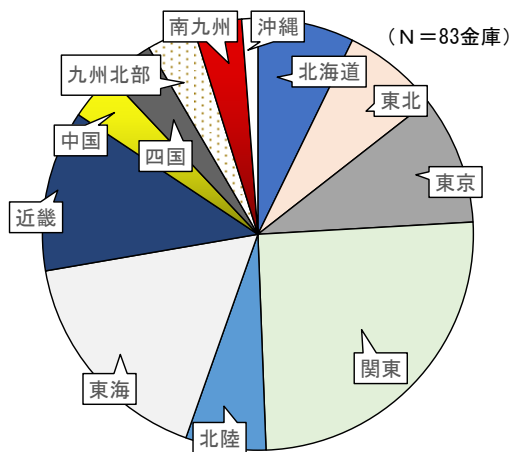
年 月 日	内 容
2020年11月16日	研修の案内発出（第8回テーマ「周年記念事業への取組み」）
12月18日	申込み期限（事前課題の提出期限）
2021年1月18日	YouTubeによるWeb研修動画の配信（約26分）
2月5日	Web研修動画の配信終了

1. 事前課題の集計結果（受講金庫の特徴等）

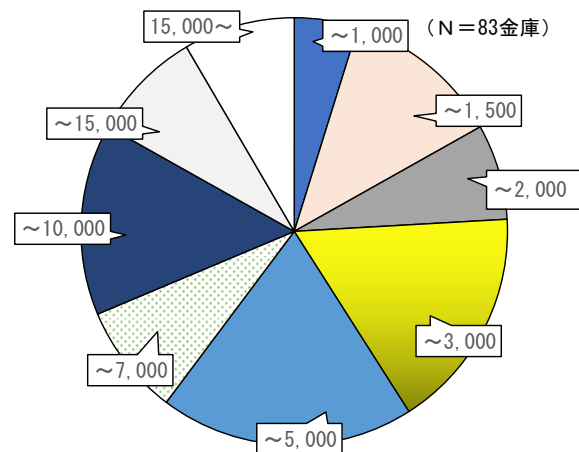
本研修は、全国から83の信用金庫が参加した。受講金庫の地区別、預金規模別の分布をみると、（図表3、4）のとおりである。

なお、本研修の事前課題提出期限は2020年12月18日であった（図表5）。その後の緊急事態宣言の再発令（2021年1月7日）などによる環境変化もあり、信用金庫の取組姿勢が変わっている可能性もあることに留意願いたい。

（図表3）地区別の受講状況



（図表4）預金規模別の受講状況（億円）



（図表5）事前課題の内容

No	設問（大項目）	課題の内容
問1	周年記念事業の有無	周年記念事業の有無・実施頻度等について
問2	周年記念事業の内容	直近に実施した周年記念事業の内容について
問3	実施予定の周年記念事業	直近で実施予定（検討中を含む）の周年記念事業について

（備考）1. 回答は原則として選択式を採用し、意見等はコメント欄に記入

2. 回答に未記入があった場合等は、適宜「その他」などへの修正を実施

2. 周年記念事業の有無（問1）

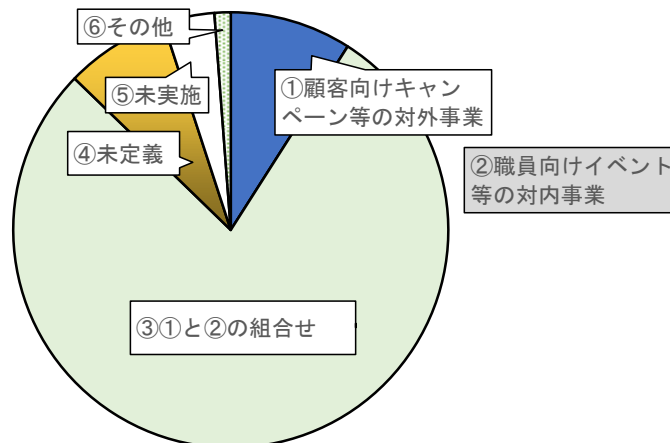
毎年、複数の信用金庫が周年記念事業を実施している。ただし実施金庫数や実施頻度などに関する情報が少なかったため、（問1）では、最初に周年記念事業の有無および範囲を確認することにした。

（1）周年記念事業の範囲

信用金庫の周年記念事業の範囲を「顧客向けキャンペーン等の対外事業と職員向けイベント等の対内事業の組合せ」とする信用金庫が全体の77.9%となった（図表6）。

「未実施」の回答割合は3.8%となるので、9割超の信用金庫が何らかの形で周年記念事業を実施していることになる。

(図表6) 周年記念事業の範囲 (1つ)



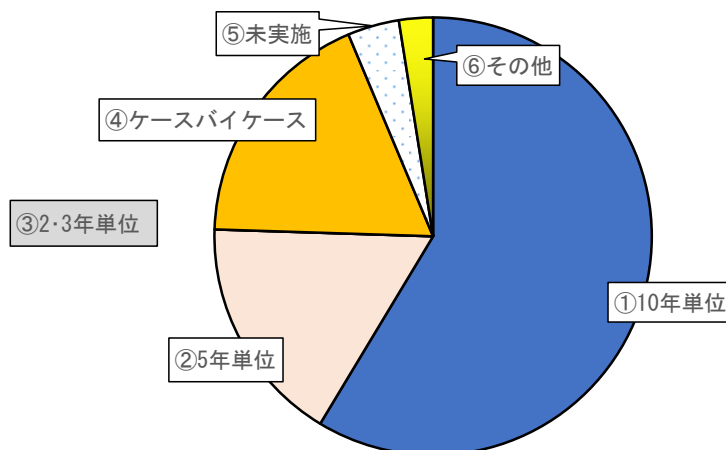
(備考) 以下、円グラフで回答が0の項目はシャドーとする。

(2) 周年記念事業の実施頻度

周年記念事業の実施頻度は「10年単位」が58.4%と半数を超え、「ケースバイケース」の18.1%、「5年単位」の16.8%が続いた(図表7)。また「その他」には『これまでは25年単位で実施』などもあった。

これらの回答から類推すると信用金庫の周年記念事業は、10年単位を基本としつつも、別途スポットで実施する事例が多いようである。

(図表7) 周年記念事業の実施頻度 (1つ)



なお、実施の運営体制(事務局)は、企画部門が42.8%、「組織横断の委員会」が37.5%、「企画部門以外の部門」は12.9%などとなった。受講金庫のなかには、『周年

記念事業の内容により、ケースバイケースで本部各部が対応する。』や『若手中心の委員会を立ち上げると同時に、事務局は本部企画部が担う。』などもあった。

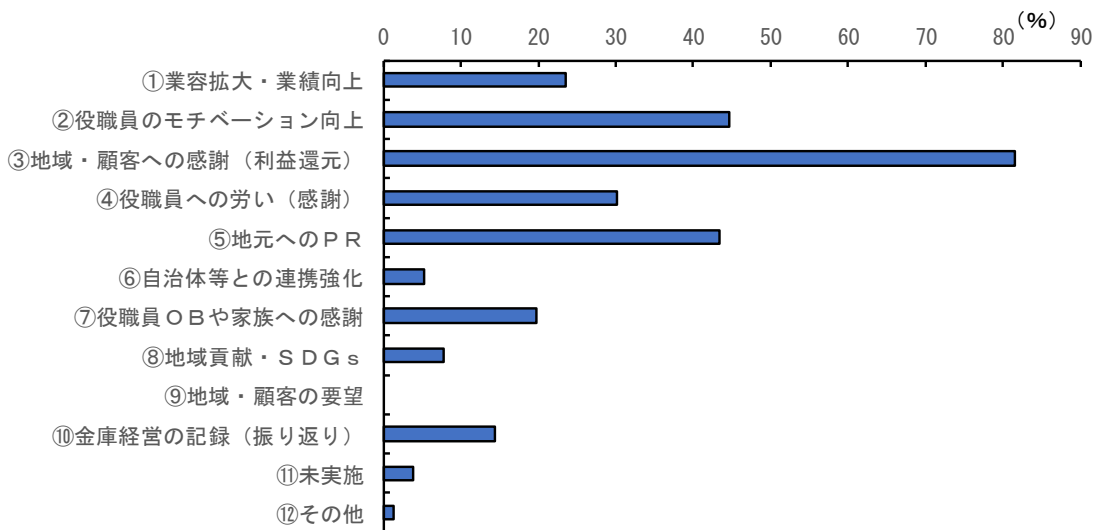
3. 周年記念事業の内容（問2）

周年記念事業の内容は多岐に亘り、また信用金庫によって取組範囲も異なる。そこで（問2）では周年記念事業の実施目的や内容を確認することにした。

（1）実施の目的

最初に周年記念事業の実施目的は、「地域・顧客への感謝（利益還元）」の回答割合が81.5%と最も高く、「役職員のモチベーション向上」（44.7%）と「地元へのPR」（43.3%）が4割を超えた（図表8）。そのほか「役職員への労い（感謝）」「業容拡大・業績向上」も2割を超えたが、「金庫経営の記録（振り返り）」は14.4%に留まった。

（図表8）実施の目的（3つまで回答可）

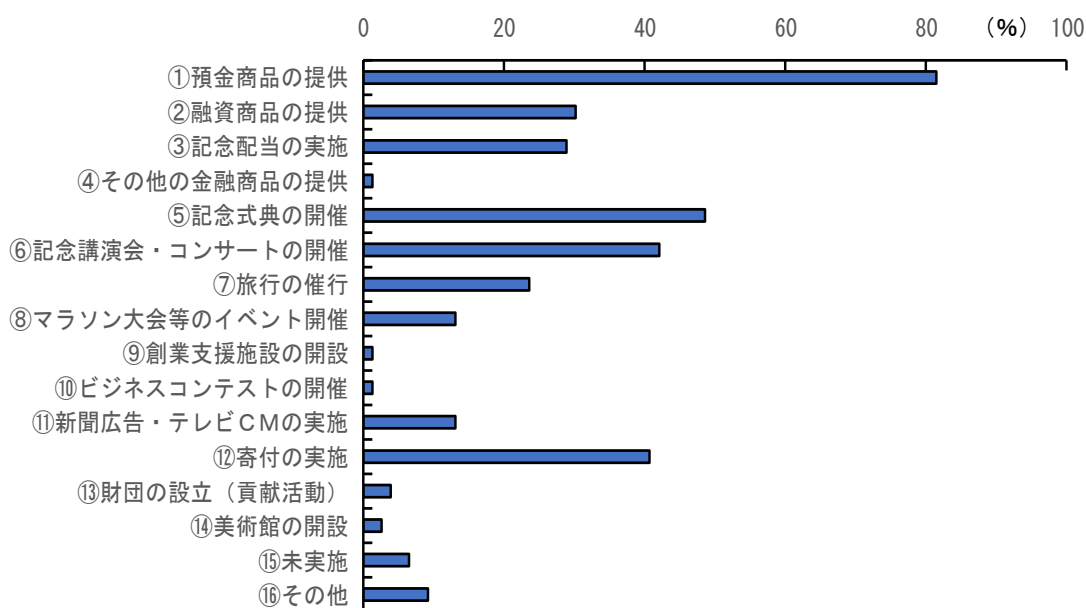


（2）顧客向けキャンペーン等の対外事業

本研修では周年記念事業の具体的な施策を、①「顧客向けキャンペーン等の対外事業」と、②「職員向けイベント等の対内事業」に分けて取りまとめることにした。

対外事業では、「預金商品の提供」の回答割合が81.5%に達し、「融資商品の提供」「記念配当の実施」などを大きく上回った（図表9）。次いで「記念式典の開催」、「記念講演会・コンサートの開催」「寄付の実施」の回答が4割台となる。「その他」の実施例としては、ボランティア活動、若手経営者の会の創設、ホームページリニューアルなどを挙げる受講金庫がみられた。

(図表9) 顧客向けキャンペーン等の対外事業 (複数回答可)

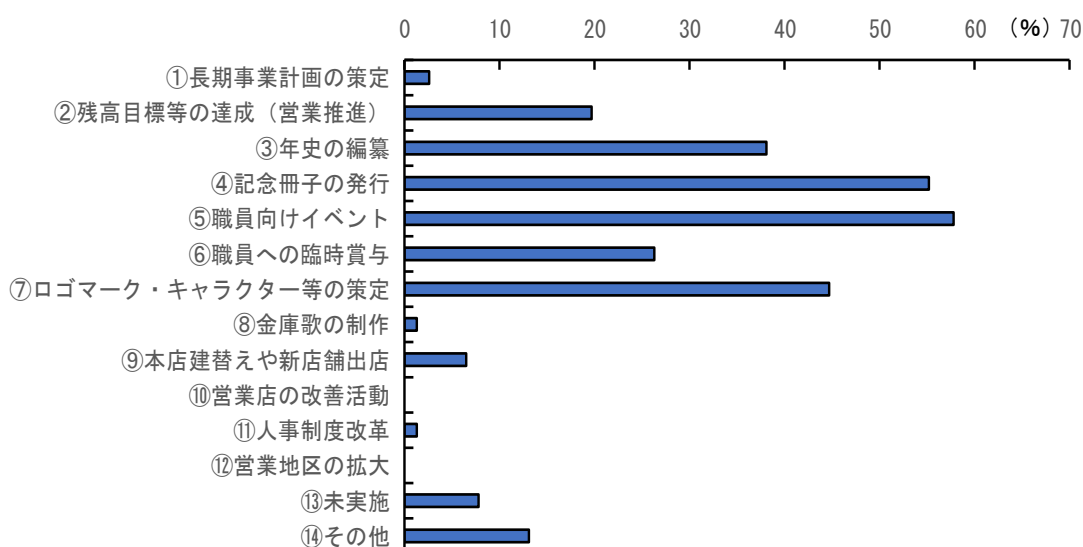


(2) 職員向けイベント等の対内事業

一方の対内事業をみていくと、「職員向けイベント」(57.8%)と「記念冊子の発行」(55.2%)の回答割合が半数を超えた(図表10)。C I (コーポレート・アイデンティティ)を設定するため「ロゴマーク・キャラクター等の策定」を挙げる受講金庫も44.7%あった。「記念冊子の発行」と重複する施策として「年史の編纂」も受講金庫の38.1%ある。そのほか、営業推進面では「残高目標の達成(営業推進)」のような業容拡大に取り組む信用金庫も2割あった。

「その他」の実施例としては、記念品の贈呈、タイムカプセルの掘出し、記念論文集などが挙げられた。

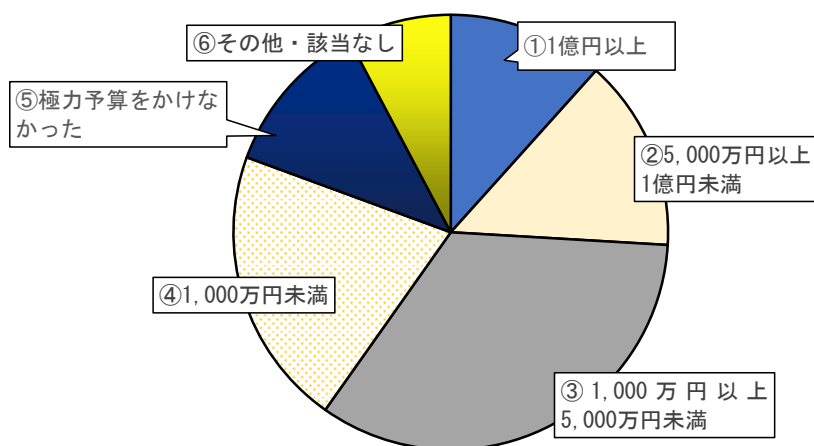
(図表10) 職員向けイベント等の対内事業 (複数回答可)



(3) 周年記念事業の予算（把握可能な範囲）

把握可能な周年記念事業の予算規模を確認すると、「1,000万円以上5,000万円未満」が受講金庫の3分の1（33.7%）となり、「1,000万円未満」の20.7%、「5,000万円以上1億円未満」の14.2%など回答が分かれた（図表11）。ただし、例えば本店・本部の建替えを周年記念事業の一環とする信用金庫と、別建てで実施する信用金庫とでは、予算規模が大きく異なる点に留意願いたい。

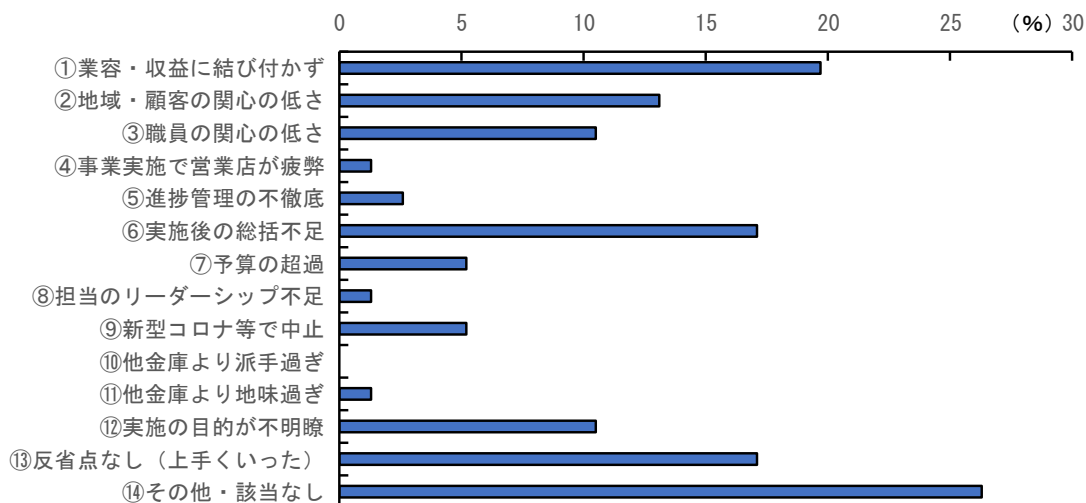
(図表11) 周年記念事業の予算（把握可能な範囲）（1つ）



(4) 実施の反省点

実施後の反省点や課題は「業容・収益に結び付かず」が19.7%と最も高く、こうした点から周年記念事業を営業推進の一環と意識する側面もみられた（図表12）。また「地域・顧客の関心の低さ」「職員の関心の低さ」「実施目的が不明瞭」の回答も1割程度あった。

(図表12) 実施の反省点（3つまで回答可）



「進捗管理の不徹底」（2.6%）に比べ「実施後の総括不足」は17.1%あり、事業終了後のノウハウ蓄積に課題があると思われる。その一方で、「反省点なし（上手くいった）」の回答割合も17.1%あった。

4. 実施予定の周年記念事業（問3）

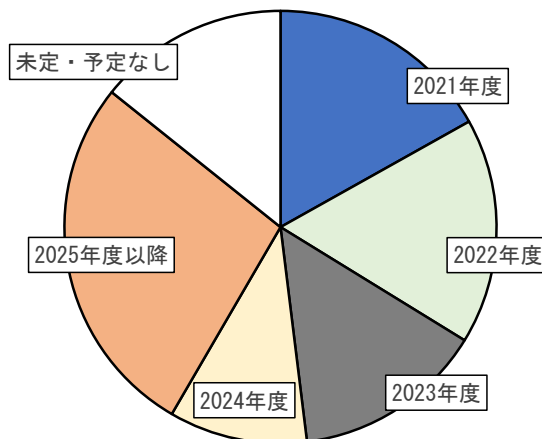
新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、当初予定していた周年記念事業を中止または延期した信用金庫は多い。今後の感染症の終息状況によるが、（問3）では予定する次回の周年記念事業の実施時期を確認した。

（1）実施予定の周年記念事業の時期

受講金庫における次回の周年記念事業は、「2021年度」および「2022年度」に実施予定が16.8%、「2023年度」に実施予定が14.2%、「2024年度」に実施予定は10.3%などとなった（図表13）。3年以内に周年記念事業を計画する信用金庫が半数近くとなった。

周年記念事業は、実施時期の1年以上前から内容の検討に入る信用金庫が多いとされる。そのため、2021年度～2022年度の周年記念事業に該当する信用金庫は既に事業の企画を開始したと想像される。実際、受講金庫のコメントでも『実施年度の3年程度前から検討を始める。』『2023年度の実施予定だが、次期中期経営計画に検討開始を盛り込み、2021年度から準備に入る。』などがあつた。

（図表13）実施予定の周年記念事業の時期（1つ）



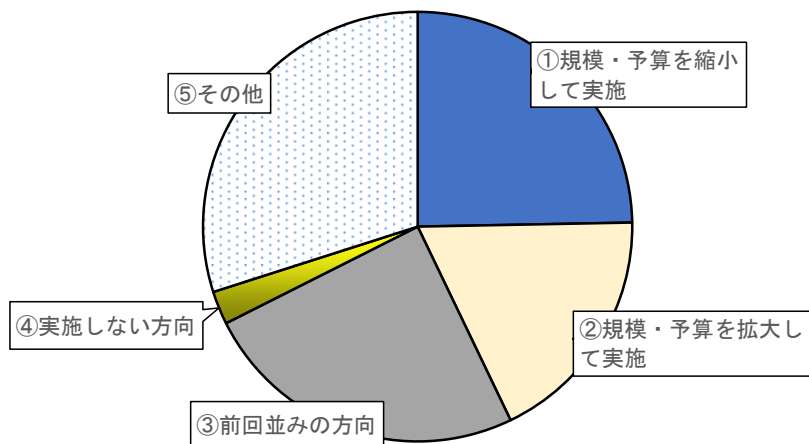
（2）実施の方向

次回の周年記念事業について実施の方向を確認したところ、「規模・予算を縮小して実施」と「前回並みの方向」がともに24.6%となり、「規模・予算を拡大して実施」の

18.1%を上回った（**図表 14**）。ただし「実施しない方向」は2.5%に留まり、また2024年度以降の実施を予定する受講金庫を中心に「その他」（現時点で未定）の回答が目立つ。「規模・予算を拡大して実施」する受講金庫のなかには『次回の周年記念事業は、100周年記念事業となるため、90周年の前回より予算をかける予定である。』などのコメントがみられる。

なお、次回の周年記念事業の予算規模（計画）は、「極力予算をかけない」が23.3%、「5,000万円未満」が19.4%、「5,000万円以上」は15.4%となったが、4割の受講金庫で「その他」（未定）を選択している。

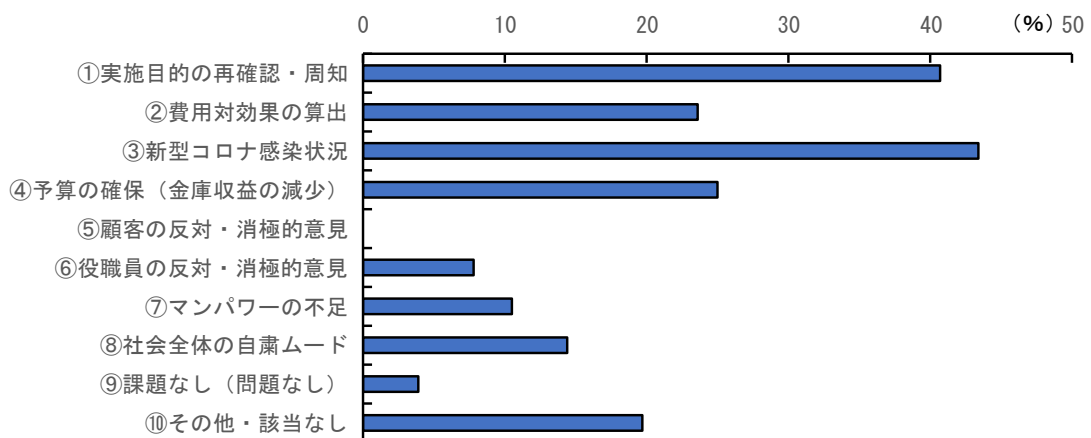
（図表 14）実施の方向（1つ）



（3）検討課題

周年記念事業を企画する際の検討課題としては、「新型コロナ感染状況」が43.4%となり感染状況に対する関心の高さが窺われる。次に「実施目的の再確認・周知」が40.7%あり、「費用対効果の算出」も23.6%となった（**図表 15**）。信用金庫の多くで

（図表 15）検討課題（3つまで回答可）



2021年度以降の収益減少が懸念されるため、「予算の確保（金庫収益の減少）」を課題とする回答割合も25.0%あった。

おわりに

多くの信用金庫にとって周年記念事業は、数年ごとに発生する重要イベントの一つと位置付けられよう。その一方で、実施周期が10年単位などと長いことから、事業に携わる職員は新たに担当することが多く、過去のノウハウが活かされにくいケースもあるようだ。もちろん周年記念事業にはその時々々の傾向や流行などがあり、前回の内容をそのまま踏襲しにくい面も多いと考えられる。

いずれにしても今後の周年記念事業の実施にあたっては、過去のノウハウを活かしつつ、最新の情報にアンテナを張って臨むことが求められよう。

以 上
とね かずゆき
(刀禰 和之)

〈参考資料等〉

- ・ 信用金庫・地域銀行等のホームページ、ディスクロージャー誌

本レポートのうち、意見にわたる部分は、執筆者個人の見解です。投資・施策実施等についてはご自身の判断によってください。

【バックナンバーのご案内：金融調査情報】（2020年度・下期）

号 数	題 名	発行年月
2020-27	コロナ禍における信用金庫の業種別貸出金動向 -飲食・宿泊業など個人向け対面サービスで高い伸び-	2020年10月
2020-28	最近の不動産価格と信用金庫の不動産業向け貸出金の動向	2020年12月
2020-29	大和信用金庫の地域活性化への取り組み	2020年12月
2020-30	コロナ禍における信用金庫経営 - 事前課題の集計結果 -	2021年2月
2020-31	信用金庫の中期経営計画の策定 - 事前課題の集計結果 -	2021年2月
2020-32	信用金庫の融資推進・営業推進策 - 事前課題の集計結果 -	2021年2月
2020-33	信用金庫の人材育成・人事制度改革 - 事前課題の集計結果 -	2021年2月
2020-34	信用金庫の営業店評価の再設定 - 事前課題の集計結果 -	2021年2月
2020-35	信用金庫の店舗体制改革 - 事前課題の集計結果 -	2021年3月
2020-36	信用金庫の渉外体制改革 - 事前課題の集計結果 -	2021年3月
2020-37	信用金庫のコスト削減・生産性向上 - 事前課題の集計結果 -	2021年3月
2020-38	信用金庫の周年記念事業への取り組み - 事前課題の集計結果 -	2021年3月

*バックナンバーは、信金中央金庫 地域・中小企業研究所 ホームページに掲載しております。

信金中央金庫 地域・中小企業研究所 活動状況 (2021年2月実績)

○レポート等の発行状況

発行日	レポート分類	通巻	タイトル
21.2.3	内外金利・為替見通し	2020-11	日銀の超緩和策は当分継続されよう。現行策の点検内容が1つの注目材料に
21.2.4	ニュース&トピックス	2020-77	信用金庫の預金・貸出金とも高い伸びが続くー12月末の預金は前年同月比7.7%増、貸出金は同7.9%増ー
21.2.5	金融調査情報	2020-30	コロナ禍における信用金庫経営 ー事前課題の集計結果ー
21.2.9	ニュース&トピックス	2020-79	コロナ感染再拡大における企業景況感の特徴 ー第1波時と比べ軽微も、国によってバラツキー
21.2.17	経済見通し	2020-4	実質成長率は20年度▲5.1%、21年度3.3%、22年度1.6%と予測ー新型コロナウイルスの感染拡大による影響は長期化の公算ー
21.2.17	ニュース&トピックス	2020-82	活況が続く米住宅市場 ーコロナ後に大幅な調整を迫られる可能性もー
21.2.26	金融調査情報	2020-31	信用金庫の中期経営計画の策定 ー事前課題の集計結果ー
21.2.26	金融調査情報	2020-32	信用金庫の融資推進・営業推進策 ー事前課題の集計結果ー
21.2.26	金融調査情報	2020-33	信用金庫の人材育成・人事制度改革 ー事前課題の集計結果ー
21.2.26	金融調査情報	2020-34	信用金庫の営業店評価の再設定 ー事前課題の集計結果ー
21.2.26	ニュース&トピックス	2020-83	信用金庫の業種別貸出金動向ー企業向け運転資金の伸び率は、21年1月末に前年同月比26.2%増ー
21.2.26	ニュース&トピックス	2020-84	3月にも公募開始が見込まれる「事業再構築補助金」 ーこれまでの事業性評価をもとに効果的な支援をー

<信金中央金庫 地域・中小企業研究所 お問い合わせ先>

〒103-0028 東京都中央区八重洲1丁目3番7号

TEL: 03-5202-7671 (ダイヤルイン) FAX: 03-3278-7048

e-mail: s1000790@FaceToFace.ne.jp

URL <https://www.shinkin-central-bank.jp/> (信金中央金庫)

<https://www.scbri.jp/> (地域・中小企業研究所)